

小学校低学年ぐらいのころ読む本

本館にある本

<p>富士山にのぼる</p> <p>菅原久夫／文 岡部一彦／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎家族5人で富士登山する様子がかかれています。風景・山頂・山小屋など、日本一高い山、富士山に登ってみたいくなります。</p> <p>J291す</p>	<p>かさじぞう</p> <p>瀬田貞二／再話 赤羽末吉／絵 出版社 福音館書店（他からも出版されています。）</p> <p>◎おおさむこさむのおおみそか。作りたてのかさを背負ってじいさまは、いさんでかけたが…。みんなが知っているお話です。</p> <p>Eあ</p>
<p>十二支のはじまり</p> <p>岩崎京子／作 二俣英五郎／絵 出版社 教育画劇（他からも出版されています。）</p> <p>◎ある年の暮れ、神様が動物たちにおふれを出したんだと。「正月の朝、ごてんに来るように。来たものから順に12番目までをその年の大将にする。」と。どうしてねこがないの？</p> <p>Eふ</p>	<p>ろくべえまってるよ</p> <p>灰谷健次郎／作 長新太／絵 出版社 文研出版</p> <p>◎暗い穴の中に落ちちゃった犬のろくべえを助け出すお話です。子どものやさしさ、友情が伝わってきます。</p> <p>Eち</p>
<p>たくさんのふしぎ 夢ってなんだろう</p> <p>村瀬学／作 杉浦範茂／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎正夢の話や科学的なことなど、夢の世界についてわかりやすく描かれています。夢の大切さが明らかに…。</p> <p>J415む</p>	<p>馬の耳に念仏</p> <p>はたこうしろう／作 齋藤孝／編 出版社 ほるぷ出版</p> <p>◎ラーメン屋の兄弟がおぼけマンションに出前を届けに行きます。その会話の中で、たくさんのことわざがでてきます。</p> <p>Eは</p>
<p>せんたくかあちゃん</p> <p>さとうわきこ／作・絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎せんたく好きなかあちゃんは、なんでもせんたくしてしまいます。楽しくて元気になるお話です。</p> <p>Eさ</p>	<p>まほうの夏</p> <p>藤原一枝・はたこうしろう／作 はたこうしろう／絵 出版社 岩崎書店</p> <p>◎都会の子が田舎で、虫とり・海水浴・山登りなど、大自然のなかで思いっきり遊びます。一回り大きくなった兄弟の楽しいお話です。</p> <p>Eは</p>
<p>おまえうまそうだな</p> <p>宮西達也／作・絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎恐竜の赤ちゃんが、ひとりぼっちで泣きながら歩いていると、「おまえ、うまそうだな」と声をかけられてしまいます。感動するお話です。</p> <p>Eみ</p>	<p>まあちゃんのながいかみ</p> <p>たかどのほうこ／作 出版社 福音館書店</p> <p>◎まあちゃんの髪は今、おかつぱ。でも、「もっと、ずっと伸ばすんだから！」と、まあちゃんがありました。その長いことったら…。女の子たち3人の会話の空想の世界を描いた楽しい絵本です。</p> <p>Eた</p>

<p>エルマーのぼうけん</p> <p>ルース・スタイルス・ガネット／作 ルース・クリスマン・ガネット／絵 わたなべしげお／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎エルマーは、年をとった猫と出会い、かわいそうな竜のこどもを助ける冒険に旅立ちます。</p> <p>J933が</p>	<p>いのちは見えるよ</p> <p>及川和男／作 長野ヒデ子／絵 出版社 岩崎書店</p> <p>◎全盲のルミさんが出産するお話です。「人の気持ち・やさしさ・思い」、目に見えないものもたくさんありますが、目には見えなくても感じることはできるのです。</p> <p>Eな</p>
<p>かさぶたくん</p> <p>やぎゅうげんいちろう／作・絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎とりたいたいなあ～、とりたいたいなあ、かさぶたとりたいたいなあ。「あっ、かさぶたとっちゃだめだよ!!」かさぶたのでき方と、その働きを優しく教えます。</p> <p>Eや</p>	<p>まじよのめざまし</p> <p>茂市久美子／作 浜田洋子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎いつも寝ぼうばかりのまさゆきは、遅刻しそうになると、古い家の庭をよこぎって走って学校へ向かいます。ある日、家の中からちよっと怖そうなおばさんがでてきて・・・。</p> <p>J913も</p>
<p>としょかんライオン</p> <p>ミッシェル・ヌードセン／作 ケビン・ホークス／絵 福本友美子／訳 出版社 岩崎書店</p> <p>◎図書館が大好きなライオン。ルールとは？マナーとは？何のためにあるの？図書館長との絆が心に残ります。</p> <p>Eほ</p>	<p>テントウムシ</p> <p>佐藤有恒／著 出版社 あかね書房</p> <p>◎テントウムシの成長する過程が迫力ある写真で学べます。テントウムシの幼虫やさなぎ、どんなか知っていますか？</p> <p>J486さ</p>
<p>ふゆめがっしょうだん</p> <p>富成忠夫・茂木透／写真 長新太／文 出版社 福音館書店</p> <p>◎冬芽とかいて、ふゆの木の芽。春に向けて準備している木たち。その表情は、人間の顔に見えたり、ラクダの顔に見えたり。読み終わったら木の芽を探しに行きたくなります。</p> <p>Eと</p>	<p>雨、あめ</p> <p>ピーター・スピーアー／作・絵 出版社 評論社</p> <p>◎男の子と女の子がレインコートを着て、長靴をはいて雨の中を遊びに行きます。水たまりに入ったり、雨どいから流れる雨を傘で受けたり、雨を楽しみます。</p> <p>Eす</p>
<p>わかったさんのクッキー</p> <p>寺村輝夫／作 永井郁子／絵 出版社 あかね書房</p> <p>◎わかったさんはクリーニング屋さん。口癖は「わかった、わかった」です。配達に出掛けた先で・・・。お菓子作りが楽しくなるレシピもあります。</p> <p>J913て</p>	<p>こまったさんのスパゲティ</p> <p>寺村輝夫／作 岡村颯子／絵 出版社 あかね書房</p> <p>◎こまったさんは花屋さん。すぐに「こまった」と言うので、夫が名づけました。そのこまったさんが、スパゲティを作っているとアフリカの大草原に立っていました。スパゲティの作り方も学べます。</p> <p>J913て</p>

<p>となりのせきのますだくん</p> <p>武田美穂／作・絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎私は一年生。名前はみほ。「今日は学校に行けない気がする。」隣の席のますだくんが怖い。ますだくんは、みほちゃんのこと…。</p> <p>Eた</p>	<p>ゴムあたまポンたろう</p> <p>長新太／作・絵 出版社 童心社</p> <p>◎頭がゴムでできているポンたろう。何かにつつかっては、ボールのようにポンとどこかに飛んでいきます。飛んでるときってどんなきぶんかな？</p> <p>Eち</p>
<p>雪の女王</p> <p>アンデルセン／原作 ナオミ・ルイス／文 ロール・カイン／絵 出版社 ほるぷ出版</p> <p>◎少年ゲルタと少女カイはとても仲良しでした。ある日、雪の女王があらわれてゲルタを連れ去ってしまいました。カイはゲルタを探しに旅にでます。悲しい泣けるお話です。</p> <p>Eる</p>	<p>ベロ出しチョンマ</p> <p>斎藤隆介／作 滝平二郎／絵 出版社 理論社</p> <p>◎長松は、貧乏な村の男の子。泣き虫な妹に、ベロを出し変な顔をして笑わせる。その兄がはりつけの刑にさらされたときにしたこととは？</p> <p>J913さ</p>
<p>天の火をぬすんだウサギ</p> <p>ジョアンナ・トゥーロトン／作・絵 山口文生／訳 出版社 評論社</p> <p>◎大切な大切な「火」。天の人から火を取ってくるのは、動物の中で一番ずる賢いうさぎでした。カラスが黒くなった理由は？七面鳥の頭に毛がないのは？？鹿の尻尾が短いのは？？</p> <p>Eと</p>	<p>せかいいちうつくしいぼくの村</p> <p>小林豊／作・絵 出版社 ポプラ出版</p> <p>◎アフガニスタンのパグマン村に住むヤモは、戦争に行った兄の代わりに、父と市場にすももやさくらんぼなどを売りに行きます。最後に書いてある言葉に胸が締めつけられます。</p> <p>Eこ</p>
<p>おこりじぞう</p> <p>山口勇子／作 四国五郎／絵 出版社 金の星社(他の出版社の本もあります。)</p> <p>◎日本が戦争をしていたころ、広島に「うふふふ」と笑った顔をしたおじぞうさんがいました。原爆がおちたあと、やけどをおった少女がおじぞうさんの前に来て「水、水」と言いました。</p> <p>Eし</p>	<p>おさとぼうしうり</p> <p>エズフィール・スロボドキーナ／作・絵 まつおかきょうこ／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎ぼうしうりが、売り物のぼうしを高くかぶって売り歩いています。そのぼうしをさるにとられてしまいます。どうやって取り返すのでしょうか？</p> <p>Eす</p>
<p>かようびのよる</p> <p>デヴィッド・ウィーズナー／作・絵 当麻ゆか／訳 出版社 徳間書店</p> <p>◎文字はなく、時間の表示のみで絵だけで進んでいきます。かようびのよるに、カエルがハスの葉にのってとんできます。カエル達は色々なイタズラをします。</p> <p>Eう</p>	<p>葉っぱのフレディ</p> <p>レオ・バスカーリア／作 島田光男／絵 みらいなな／訳 出版社 童話屋</p> <p>◎春、大きな木の太い枝に葉っぱのフレディは生まれました。「生まれること」「変化すること」が「永遠の命」へとつながっていく意味を親友のダニエルとの会話から教えてもらえます。</p> <p>J933ば</p>

<p>やかんねこ</p> <p>矢玉四郎／作・絵 出版社 岩崎書店</p> <p>◎主人公アキラがやかんに乗ったねこと一緒に宇宙飛行に出発します。</p> <p>J913や</p>	<p>じゅげむ</p> <p>川端誠／作・絵 出版社 クレヨンハウス</p> <p>◎じゅげむとは？！生まれてきた我が子にめでたい名前をつけてやろうと・・・。</p> <p>Eか</p>
---	--

南下浦分館にある本

<p>富士山にのぼる</p> <p>菅原久夫／文 岡部一彦／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎登山風景や山小屋がとてもリアルに描かれていて、富士山に登っている気分になります！</p> <p>I291す</p>	<p>すんだことはすんだこと</p> <p>ワンダ・ガアグ／再話・絵 佐々木マキ／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎おやじさんがおかみさんの仕事（家事）の方が自分の仕事より楽だと言ひ、仕事をとりかえることになりました。次から次へと色々なことがおこります。</p> <p>I933が</p>
<p>絵ときゾウの時間とネズミの時間</p> <p>本川達雄／作 あべ弘士／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎一生のあいだにうつ心臓の数は？大きなゾウと小さなネズミって一緒？？ふしぎなことにどの生き物も死ぬまでにうつ心臓の回数が同じだそうです。さて何回？</p> <p>Eも</p>	<p>ごきげんなすてご</p> <p>いとうひろし／作・絵 出版社 徳間書店</p> <p>◎「あたしはりっぱな捨て子です。あたしを拾うとおトクです。子どものいないお金持ち、あたしをもらってくださいな！」弟ばかりかわいがるお母さんに反抗して家出した女の子。元気いっぱいのお話です。</p> <p>J913い</p>
<p>ことばのこぼこ</p> <p>和田誠／作・絵 出版社 瑞雲舎</p> <p>◎ことばがたくさんはいついて、しりとり、回文、かぞえうたなどリズムもよく、何度も読みたくなる楽しい絵本です。</p> <p>Eわ</p>	<p>せんたくかあちゃん</p> <p>さとうわきこ／作・絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎せんたく大好きなかあちゃんは、なんでもせんたくして、果てはかみなり様までせんたくしてしまいます！楽しくなる絵本です。</p> <p>Eさ</p>
<p>秘密の花園</p> <p>F・Hバーネット／作 堀内誠一／絵 猪熊葉子／訳 出版社 福音館書店（他からも出版されています。）</p> <p>◎少女メリーは、両親を亡くし、おじさんの家に住むことになりました。家には、誰も入ることのできない花園があります。登場人物の成長がみられます。</p> <p>J933ば</p>	<p>エルマーのぼうけん</p> <p>ルース・スタイルス・ガネット／作 ルース・クリスマン・ガネット／絵 わたなべしげお／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎エルマーが色々な動物と出会い、知恵と工夫でトラブルを乗り越えていく、わくわくする物語です。</p> <p>J933が</p>

<p>かわいそうなぞう</p> <p>つちやゆきお／作 たけべもといちろう／絵 出版社 金の星社</p> <p>◎動物たちは、戦争にはまったく関係なかったのに…どうして殺されなければならなかったのか？本当にあった悲しいお話です。</p> <p>Eた</p>	<p>いのちは見えるよ</p> <p>及川和男／作 長野ヒデ子／絵 出版社 岩崎書店</p> <p>◎目の見えないお母さんが、それでも赤ちゃんをしっかり感じ取り、子育てをしていく話です。子どもだけでなく、大人にも読んでほしい作品です。</p> <p>Eな</p>
<p>まじよのめざまし</p> <p>茂市久美子／作 浜田洋子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎ねぼうばかりだったまさゆきが、不思議なおばあさんにももらったねこのめざましどけいを使ってみると…？</p> <p>J913も</p>	<p>かさぶたくん</p> <p>やぎゆうげんいちろう／作・絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎かさぶたってなんでできるんだろう？楽しく学ぶことができる一冊です！</p> <p>Eや</p>
<p>テントウムシ</p> <p>佐藤有恒／著 出版社 あかね書房</p> <p>◎テントウムシの生態が写真で学べます。美しい羽根の模様から、なかなか見られない貴重な写真まで盛りだくさんです！</p> <p>J486さ</p>	<p>じごくのそうべえ</p> <p>田島征彦／作・絵 出版社 童心社</p> <p>◎じごくってどんなところ？？そうべえが綱渡りで失敗し、じごくに送られることになったお話です。えんま大王や鬼どもを笑いでやっつけます。</p> <p>Eた</p>
<p>ひとまねこざる</p> <p>H・Aレイ／作・絵 出版社 岩波書店</p> <p>◎動物園に住むおさるのジョージは、動物園を抜け出して外の世界でいろいろなことをしてしまいます。何でも知りたがって、何でも首を突っ込んで確かめたりと好奇心旺盛です。</p> <p>Eれ</p>	<p>ゴムあたまポンたろう</p> <p>長新太／作・絵 出版社 童心社</p> <p>◎大人にもファンが多い、シュールな一冊です。あたまがゴムだからどこにぶつかってもいたくないポンたろう、どこまで飛んでいくのかな…？</p> <p>Eち</p>
<p>ペロ出しチョンマ</p> <p>斎藤隆介／作 滝平二郎／絵 出版社 理論社</p> <p>◎眉毛がハの字になって、舌を出すおもちゃのモデルにもなったお話です。妹を慰めるためにペロを出して面白い顔をして笑わせる優しい長松、しかし一家を恐ろしい運命が襲い…。悲しくも心揺さぶる結末です。</p> <p>J913さ</p>	<p>葉っぱのフレディ</p> <p>レオ・バスカーリア／作 島田光男／絵 みらいなな／訳 出版社 童話屋</p> <p>◎葉っぱのフレディは、春に生まれ、夏と秋を仲間たちと過ごし、そして冬には終わりを迎えます。短い一生に最初は疑問を持ちつつも、最後には終わりを満ち足りて受け入れるフレディの姿に学ぶものが多いです。</p> <p>J933ば</p>

<p>じゅげむ</p> <p>川端誠／作・絵 出版社 クレヨンハウス</p> <p>◎あの有名な、「じゅげむじゅげむごころのすりきれ…」を落語にした話です！こんな長い名前をつけられて、最後はどうなるの？必見です。</p> <p>Eか</p>	<p>ひろしまのピカ</p> <p>丸木俊／作・絵 出版社 小峰書店</p> <p>◎戦争・原爆のお話です。</p> <p>Eま</p>
<p>いたずらあかずきんちゃん</p> <p>さとうまきこ／作 原ゆたか／絵 出版社 あかね書房</p> <p>◎やんちゃ坊主アキラくんは、オオカミに赤ずきんちゃんと間違えられてしまいます！？</p> <p>J913さ</p>	<p>れいぞうこのなつやすみ</p> <p>村上しいこ／作 長谷川義史／絵 出版社 PHP研究所</p> <p>◎れいぞうこがしゃべりだす！！プールに行きたいと…。れいぞうこは女の子だから水着がほしいといいただきます。親子で楽しめる絵本です。</p> <p>J913む</p>

初声分館にある本

<p>かさじぞう</p> <p>瀬田貞二／再話 赤羽末吉／絵 出版社 福音館書店（他からも出版されています。）</p> <p>◎貧乏だけれど優しいおじいさんが、雪が積もったおじぞうさんに笠をかぶせてあげると…？心温まるハッピーエンドです。</p> <p>Eあ</p>	<p>ずんだことはずんだこと</p> <p>ワンダ・ガアグ／再話・絵 佐々木マキ／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎つついほかのの方が楽をしている、と思えてしまうけれども…？試してみて初めて分かることがたくさんあると教えてくれる話です。タイトルの前向きさも秀逸です。</p> <p>I933が</p>
<p>絵ときゾウの時間とネズミの時間</p> <p>本川達雄／作 あべ弘士／絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎大きな体で寿命が長いゾウと、小さな体で寿命が短いネズミ。ネズミはかわいそうなのでしょうか。大人も色々考えさせられる科学の本です。</p> <p>J481も</p>	<p>ろくべえまってるよ</p> <p>灰谷健次郎／作 長新太／絵 出版社 文研出版</p> <p>◎穴の中に落ち、大人たちに見捨てられてしまった犬のろくべえを、子どもたちが助けるために奮闘するハラハラドキドキの物語です！</p> <p>Eち</p>
<p>ごきげんなすてご</p> <p>いとうひろし／作・絵 出版社 徳間書店</p> <p>◎赤ちゃんが生まれると、みんな赤ちゃんばかりかわいがる…おさるみたいなのに！そんなお兄ちゃんお姉ちゃんの気持ちにぴったり寄り添う一冊です。</p> <p>J913い</p>	<p>ゆうきメガネ</p> <p>浅羽じゅんこ／作 岡本順／絵 出版社 あかね書房</p> <p>◎「ゆうき」って何？少年ゆうやが、忍者ゆいまるから頼まれて、「ゆうき」を集めます。</p> <p>J913あ</p>

<p>車のいろは空のいろ（続）</p> <p>あまんきみこ／作 北田卓史／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎タクシーの運転手さんの周りにおきる不思議な事件のお話です。読んだあと、心が温かくなります。</p> <p>J913あ2</p>	<p>きみとぼく</p> <p>ケイコ・ナラハシ／作 小風さち／訳 出版社 福武書店</p> <p>◎いつもぼくと一緒のきみは、影。座ったり、歩いたり、遊んだり、泳いだり、いつも一緒。</p> <p>Eな</p>
<p>かりんちゃん十五人のおひなさま</p> <p>なかがわちひろ／作・絵 出版社 偕成社</p> <p>◎かりんちゃんは、おばあちゃんから古いおひなさまをもらいます。そのおひなさまが、しゃべったり動いたりするのを目撃します！！</p> <p>J913な</p>	<p>秘密の花園</p> <p>F・Hバーネット／作 堀内誠一／絵 猪熊葉子／訳 出版社 福音館書店（他からも出版されています。）</p> <p>◎ひねくれていた少女メアリーが、秘密の花園を生まれ変わらせるために奮闘する中で成長していきます。</p> <p>J933ば</p>
<p>まほうの夏</p> <p>藤原一枝・はたこうしろう／作 はたこうしろう／絵 出版社 岩崎書店</p> <p>◎都会暮らしの子どもたちからすると、田舎の自然に包まれた夏休みは不思議なこと、新しいこと、楽しいこといっぱい！まさにまほうのような日々なのです。こんな夏休みを過ごしたい！と思わせます。</p> <p>Eは</p>	<p>そらまめくんのベッド</p> <p>なかやみわ／作・絵 出版社 福音館書店</p> <p>◎そらまめくんの宝物はベッド。雲のようにフワフワで、綿のように柔らかい。みんながうらやましがりますが、絶対に使わせようとしません。ある日その大切なベッドがなくなってしまいます。</p> <p>Eな</p>
<p>まあちゃんのながいかみ</p> <p>たかどのほうこ／作 出版社 福音館書店</p> <p>◎まあちゃんはこれから髪を伸ばすと友達に宣言します。背中が隠れるぐらい？いえいえ、おさかなを釣ったり、投げ縄にして牛を捕まえたり、洗濯物を干せるぐらい長いです！！子どもたちの想像力が楽しい一冊です。</p> <p>Eた</p>	<p>エルマーのぼうけん</p> <p>ルース・スタイルス・ガネット／作 ルース・クリスマン・ガネット／絵 わたなべしげお／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎りゅうを助けるための冒険にでかけたエルマーは、リュックの中に入れた色々なものでピンチを切り抜けます。歯ブラシや歯磨き粉、棒付きキャンデーで、どうやってサイヤワニと戦うの？ぜひ読んでみてください！</p> <p>J933が</p>
<p>かわいそうなぞう</p> <p>つちやゆきお／作 たけべもといちろう／絵 出版社 金の星社</p> <p>◎戦時中に犠牲になったのは人間だけではありませんでした。「空襲で檻が壊れた際に人を襲うかもしれない」と、殺処分されてしまった動物たちもいたのです。ゾウも殺処分されることになり…。</p> <p>Eた</p>	<p>あらしのよるに</p> <p>木村裕一／作 あべ弘士／絵 出版社 講談社</p> <p>◎荒れ狂った嵐の夜に、壊れかけた小屋で、嵐を避けて飛び込んできたヤギとオオカミがハチ合わせ！小屋の中は真っ暗。おまけにカゼをひいて鼻も効かない。おしゃべりをしていくうちに…。</p> <p>Eあ</p>

<p>いのちは見えるよ</p> <p>及川和男／作 長野ヒデ子／絵 出版社 岩崎書店</p> <p>◎エリちゃんはお隣に住んでいる全盲の妊婦ルミさんが転んだところを助け、そのまま出産に立ち会います。緊迫感ある出産シーンのは必見です。ぜひエリちゃんの気持ちになって読んでみてください。</p> <p>Eな</p>	<p>テントウムシ</p> <p>佐藤有恒／著 出版社 あかね書房</p> <p>◎アブラムシやカイガラムシを食べる、「生きた農薬」テントウムシ。その生態に迫ります。</p> <p>J486さ</p>
<p>まじよのめざまし</p> <p>茂市久美子／作 浜田洋子／絵 出版社 ポプラ社</p> <p>◎おばあさんがくれた猫型のめざまし、まるで本物の猫みたいで！？猫好きの人にもおすすめです！</p> <p>J913も</p>	<p>ふゆめがっしょうだん</p> <p>富成忠夫・茂木透／写真 長新太／文 出版社 福音館書店</p> <p>◎いろいろな木の芽たちが大集合して歌います。子どもの顔みたいに見えてきて面白いです！</p> <p>Eと</p>
<p>としゃかんライオン</p> <p>ミッシェル・ヌードセン／作 ケビン・ホークス／絵 福本友美子／訳 出版社 岩崎書店</p> <p>◎図書館はルールを守ればだれでも利用できる場所。そんなある日、図書館にライオンがやってきて！？最初はみんなびっくりですが、お行儀がよくて図書館大好きなライオン、あなたもきっと好きになります。</p> <p>Eほ</p>	<p>わかったさんのクッキー</p> <p>寺村輝夫／作 永井郁子／絵 出版社 あかね書房</p> <p>◎わかったさんは迷い込んだふしぎな世界でロッククッキーを作り、クッキー作りのカギを飲み込みます。お菓子作りがしたくなる一冊です。</p> <p>J913て</p>
<p>こまったさんのスパゲティ</p> <p>寺村輝夫／作 岡村颯子／絵 出版社 あかね書房</p> <p>◎気が付くとアフリカに来てしまったこまったさんがアフリカゾウから教わるのは、ボンゴレ、トンノ、ミートソースの3種類のスパゲティ。読めば作ってみたいこと間違いなしです。</p> <p>J913て</p>	<p>せかいいちうつくしいぼくの村</p> <p>小林豊／作・絵 出版社 ポプラ出版</p> <p>◎アフガニスタンの美しい村が舞台です。優しい時間が流れていく中で、最後のページで衝撃の結末を迎えます。戦争の恐ろしさ、虚しさを教えてくれる一冊です。</p> <p>Eこ</p>
<p>ゴムあたまポンたろう</p> <p>長新太／作・絵 出版社 童心社</p> <p>◎ゴムあたまポンたろう、山にぶつかってとんでいき、お花畑、ジャングル、海を越え、最後はどこまでいくのかな？ぜひ難しく考えず、脱力して笑いながら楽しんでください。</p> <p>Eち</p>	<p>葉っぱのフレディ</p> <p>レオ・バスカーリア／作 島田光男／絵 みらいなな／訳 出版社 童話屋</p> <p>◎フレディの短い一生、悩みと葛藤と受容を通して、私たちも人生とは、と考えさせられる一冊です。ぜひ大人にも読んでいただきたいです。</p> <p>J933ば</p>

<p>天の火をぬすんだウサギ</p> <p>ジョアンナ・トゥロートン／作・絵 山口文生／訳 出版社 評論社</p> <p>◎ウサギが動物たちみんなと協力して、天の人から火を盗み出します。その過程で、リスのしっぽが丸くなったり、アライグマの顔が黒くなったり、シカのしっぽが短くなったり…動物たちを応援しながら読んでください！</p> <p>Eと</p>	<p>かようびのよる</p> <p>デヴィッド・ウィーズナー／作・絵 当麻ゆか／訳 出版社 徳間書店</p> <p>◎リアルな絵の迫力が、まるで3D映画を見ているような気分にさせられる作品です。ぜひ、世界観にどっぷり浸って、蓮の葉UFOでとんでくるカエルたちをお楽しみください！</p> <p>Eう</p>
<p>よあけ</p> <p>ユリー・シュルヴィッツ／作・絵 瀬田貞二／訳 出版社 福音館書店</p> <p>◎文章が短い絵本です。おじいさんと孫がふたり、湖のほとりで夜を明かします。夜が明けるシーンは感動的です。</p> <p>Eし</p>	<p>ひろしまのピカ</p> <p>丸木俊／作・絵 出版社 小峰書店</p> <p>◎戦時中ながらも和やかだった家族団らんが一変、原爆の落ちた地獄と化した広島で、お母さんは子どもと瀕死のお父さんを抱え、水を求めてさまよいます。忘れてはいけない戦争の悲惨さを教えてくれる一冊です。</p> <p>Eま</p>